

## 編集後記

今号では、名古屋大学の宇佐美先生から、鋼橋の耐震設計についての巻頭言をいただきました。より高度な耐震設計を行っていく上での課題をわかりやすく述べていただき、大変有り難く、誌面を借りまして厚く御礼申し上げます。

当社では、阪神大震災に伴う阪神高速道路の3件の復旧工事に携わりました。その報告が今号に載っています。多くの犠牲者を出した未曾有の大地震でしたが、あの地震により耐震、制震、免震技術が進歩したことは確かです。これらの技術をより進歩させ、二度とあのような被害を出さないよう研鑽して行きたいと思えます。

また、以前から当社で開発を進めていた、鋼桁とコンクリート橋脚の合成構造についての続報も掲載しています。実工事への適用にあたっては、研究・開発段階では想定していなかった（想定する必要性が低い）問題が発生することがあります。個々の問題に対し、実験結果との整合性や解析のモデル化への適合性を図った設計をする必要があるわけですが、それらが一体となって初めて開発業務が完了します。新しい技術が、今後の社会資本整備に役立つことを願います。

## 技報編集委員会

委員 長	高崎 一郎				
副委員 長	成宮 隆雄	三木 茂喜			
委員	石川 通陽	伊藤 徳昭	北村 慎悟		
	金原 慎一	小林 裕輔*	佐藤 徹*		
	佐藤 浩明	坪井 幹男	内藤 省吾		
	永見 研二*	西垣 登	能登 宥愿		
	長谷川 宜宏	牧野 克彦	松本 泰成		
	宮沢 智明	森下 統一	吉川 薫		

\*印 事務局兼務

### 宮地技報 第13号

発行日 平成9年12月15日  
発行所 株式会社宮地鐵工所  
〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号  
(日本橋SKビル)TEL03(3639)2111(代)  
印刷所 望月印刷株式会社